

# 東京海上・東南アジア株式ファンド

東京海上アセットマネジメント

格付： C-3



CLUB ALCHEMISTA

東南アジア諸国連合（アセアン）加盟国の取引所に上場している株式に投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

A S E A N加盟国の上場株式

利回り

3.26%

## 概要

近年、世界経済の中での存在感を強めている東南アジア諸国の中で、外国人が投資可能な取引所がある6カ国の株式を中心に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指す。2月、8月決算。

## リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	SGD ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： 東京海上アセットマネジメント株式会社

Web: <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

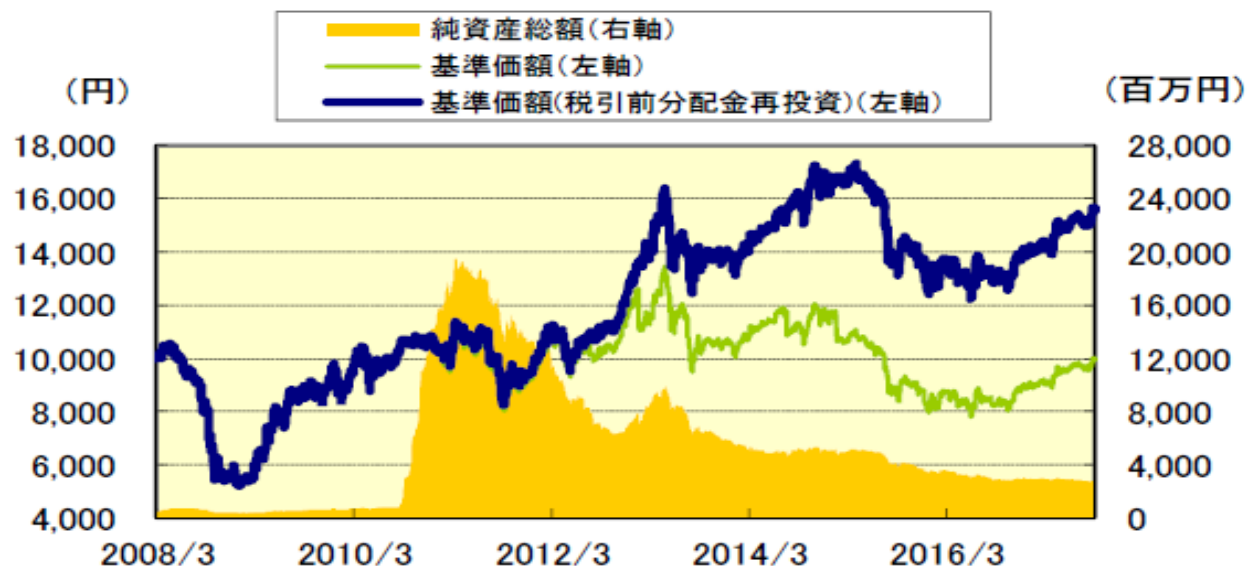
所在地： 東京都千代田区丸の内1-8-2

鉄鋼ビルディング

## Summary

本投資信託は、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの6カ国の上場株式を主要投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行っている。9月の東南アジア株式市場は、地政学的リスク（北朝鮮）の高まりや、米国長期金利の上昇がアジア圏からの資金流出懸念につながったことから上値の重い展開となり、前月末比ほぼ横ばいとなった。しかし中長期的には、労働人口の増加や可処分所得の上昇、信用拡大による個人消費の拡大などが期待できることや、旺盛な需要を背景としたインフラ投資などが、域内の内需拡大に寄与すると考えられる。今後は、中国政府の政策による景気への悪影響や、米政権の政権運営能力に対する懸念の高まりなどがリスクとして挙げられるものの、東南アジア株式市場は、先進諸国の株価水準などと比較して相対的に割高な水準にはないことなどから、中長期的に底堅く推移することが予想できるとしている。以上のことから、リターン面を「C-」、リスクを「3」と判断する。

## 基準価額・純資産総額の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。